



森と海の自然科

2023年2月5日

阪南市海岸ビーチコーミング体験と漁師の家めし（報告）

報告者～伊藤隆資

日時：2023年2月2日（木）

集合：10時50分 南海本線 鳥取ノ荘駅

参加者：（19名）浅野、伊藤（隆）、伊藤（春）、大石、河合、川端、権野、杉谷、荘村、東川、西井、秦、福嶋（明）、福嶋（昭）、藤井、李三、森、倭、山本

山田 浩二先生、児島 格先生

日程：11:05～11:45（漂着物収集） 12:00～13:50（収集物分類・同定・観察）

14:00～15:15（漁師の家めし・英進丸名倉で皆でお食事）

鳥取ノ荘の海岸は、自然の砂であるため、海水によって浜辺に打ち上げられた漂着物が収集、観察できる。

ビーチコーミングは森海の活動としては、初めての取り組みであった。

この時期であるので、海岸での活動は寒いのではないかと、という懸念もあったが、実際は良い天気（風も無く）で、約40分間各々漂着物の収集を行った。

その後、場所を西鳥取公民館に移動し、各々の収集物を以下の3グループに分かれ分類、記録した。以下は、その結果である。

Aグループ～（人工物）プラスチック、ガラス、ゴム、その他物品

Bグループ～（二枚貝の貝殻）

Cグループ～（巻貝の貝殻）・（動物の骨・死骸等）・（植物、木、種等）

*Aグループで分類した物（人工物）

プラスチック：ライター（4）、注射器（1）、キャップ（12）

ストロー（2）、サングラス（1）、ウキ（1）、傘の柄（1）

目薬の容器（1）

ガラス・陶磁器類：陶磁器片（多数）、シーガラス（多数）、タイル片（5）

ゴム類：ボール（1）、ホース片（1）

布類：ロープ類（多数）

金属類：アルミ缶片（4）

その他：レンガ片（多数）、屋根瓦片（多数）、木炭（1）、流木（5）、タバコフィルター（4）、ビニル袋（多数）、包丁の柄（1）、

海岸にて確認 魚類捕獲かご（1）

*Bグループで分類した物（二枚貝の貝殻）

サルボウ（多数）、マガキ（多数）、オニアサリ（3）、アサリ（4）、ハマグリ（8）ムラサキガイ（7）、クチベニガイ（15）、ナミマガシワ（10）、ヒバリガイ（2）イタヤガイ（2）、ウチムラサキ（多数）、ホトトギスガイ（3）、イワガキ（1）トリガイ、サギガイ、シオツガイ、ヒメシラトリガイ、ハリガネエガイ、バカガイ、カガミガイ、チリボタン（各1）

*Cグループで分類した物（巻貝の貝殻）

シマネノウフネガイ、イボニシ、マツバガイ、アカニシ、オオヘビガイ、イシダタミ、スガイ、コシダカガンガラ、レイシガイ、メダカラガイ、ハツユキダカラ、ヨウフウバイ、アラムシロ、カワニナ、アダムスタマガイ、ホトトギスガイ、ムギガイ、コモレビコガモガイ、ツメタガイ、クロガイダマシ、サザエのふた

（貝以外）

ヒトデ、ウニ、タイワンガザミ、モクズガニ、フジツボ類、コンゴウフグ、アマモフグの仲間、カイメン類、フサコケムシ、甲イカ類、オニグルミの種

待ちに待った、一寸遅めの昼食を「漁師の家めし」英進丸名倉で、各々前もって選んだメニューの食事に舌鼓を打った。

ビーチコーミングの計画や、昼食の交渉など、秦さんには大変お世話になりました。

山田先生、児島先生には沢山ご指導頂き、有難うございました。

